

## 平成 25 年度 第 2 回二宮町環境審議会 会議録

日 時：平成 25 年 8 月 29 日（木）午後 2 時～4 時

場 所：二宮町役場 第一会議室

出席者：藤田会長 / 大矢副会長 / 亀井委員 / 岡田委員 / 古澤委員 / 西山委員 / 土谷委員  
三橋委員 / 桑田委員  
長尾町民生活部長

欠席者：飯田委員

事務局：筑紫生活環境課長 / 須田生活環境班長 / 西山主査 / 青柳主事

傍聴者：2 名

### 1. 開会

### 2. あいさつ

(会長より)

暑い中、お集まりいただき、ありがとうございます。

委員の皆様には事前に資料をご覧いただいていると思います。議題に沿って審議にご協力ください。この第二回の審議会で意見の最終的取りまとめをさせていただきたいと考えております。審議会の意見は行政に尊重していただくこととなりますが、その尊重していただく時間をできるだけ長く取った方が良く考えているためです。つまり、今日取りまとめするということになれば、9 月から 25 年度の事業について意見を尊重して反映していただけますし、来年度の予算要求にも繋げられると思います。是非ご協力お願いいたします。

### 3. 議題

- (1) 前回会議録の確認について
- (2) 4. 計画の推進方策について
- (3) V 総合評価(V まとめ 改)について
- (4) VI 二宮町環境審議会の意見の取りまとめについて
- (5) その他

- (1) 前回会議録の確認について

\*事務局から前回資料 3 2-3.①差し替えの説明

\*資料 1、資料 2、について事務局より説明

#### 【質問・意見】

会 長：ただ今ご説明のあった資料について、特にご意見が無ければこのまま公開してよ

ろしいでしょうか。

委員：意見無し。

会長：では、これをお願いします。

(2) 4. 計画の推進方策について

\*前回資料2を基に事務局より説明

【質問・意見】

会長：4. 計画の推進方策については、4-1. “町民・事業者・町”による計画推進、4-2. “横断的な取組み”による計画推進、4-3. “学習・情報共有”による計画推進の、3つの施策に分かれています。それぞれ町の評価や計画設定の仕方等についてご意見があればお願いします。

委員：目標値は設定してないのでしょうか。

事務局：前回資料3をご覧ください。評価シートに目標等記載されています。これは、町民の皆様へ公開する資料というよりは、審議会のための資料です。目標値や実績値を記載していますが、数値だけでは表せない部分が事業全般にございますので、評価等文言で記載しています。

会長：参加者人数等、値を把握しているものは記載をお願いします。例えば、4-1.②環境に関するイベントの開催の中で、課題として「より多くの町民に参加していただけるように、広報に努める。」とありますが、そもそも何人集まったか記載されていません。それから、4-3.①環境情報の提供では、広報掲載回数、ホームページの更新回数を目標に掲げているところについて、アクセス数をカウントし記載していただいたほうが、評価としては見易いと思います。

委員：4-1.④商店街等との連携による環境に関するシステムづくりについて、エコカード取扱店舗数を数値目標にして評価しているのは理解できません。これでは事業者の方の視点だけです。取扱店舗数が増えても、買い物する側がそれに参加できるかというところが違うと思います。実際の利用とは乖離があると思いますので、指標としていかがなのか、と思います。

委員：私が知っている範囲でお話ししますと、エコカードはジョイスタンプ加盟店のみで発行しています。本来は、ジョイスタンプに加盟していなくても商連等が働きかけを行い、エコカードの取り扱い店舗を増やせば良いと感じています。

会長：エコカード扱い上位社を表彰するなど、検討してはいかがでしょうか。160ポイントまで貯めないとポイントが使えないということが書いてありますが、そのようなことも含め、仕組みを見直した方が良いと思います。それから、生涯学習も含めてですが、環境教育の取組みについて申し上げます。環境教育、防災教育の取組みは東日本大震災以降各地で行われています。環境教育、防災教育、福祉教育をもう少し横串で取り組めるような体制になると良いと思います。ご意見、

他に無いようでしたら次の議題に移らせていただきます。

(3) V 総合評価(V まとめ 改)について

\*前回資料2 Vまとめの見出しをV総合評価に変更することについて事務局より説明

【質問・意見】

会 長：見出しを総合評価に変えたいということですが、よろしいでしょうか。

委 員：意見無し。

会 長：ではそのようにお願いします。

\*前回資料2を基に事務局より説明

会 長：V総合評価について、いかがでしょうか。

委 員：生物多様性の保全の評価数値 2.15 は厳しいと思います。山の環境は大分良くなっていますし 4~5 割くらいの点数でも良いと思います。

事務局：この点数は、満点が 3 点ですので、3 点中の 2.15 であれば、5 割以上の点数になっています。

委 員：3 点満点ですか。

会 長：はい。

委 員：自分たちが計画したことに対して、この点数をどのように判断すれば良いのか分かりません。前期目標を何点にするか決めて実行計画に落とし込めば、成果判断が可能です。

会 長：点数の見方は、前回資料2の4ページにあります。Aが3点、Bが2点、Cが1点、Dが0点として、事業それぞれの平均点を求めているのですね。Aは「事業の目的を達成できた、または同等の成果が得られた。」、Bは「計画通り実施し、一定の成果が得られた。」、Cは「計画通り実施できず、ほとんど成果が得られなかった。」、Dは「計画未実施」となっています。ですから、例えば 2.15 点は、評価 B の「計画通り実施し、一定の成果が得られた。」に該当し、B+といったところでしょうか。委員のお話しであったのは、明確な数値目標を定め、全体に最低どこまで行うかを定める体制にすると良いということですね。

委 員：初年度から最終的な数値目標が達成されている事業もあれば、5年間かけて1事業完成させる事業もあります。年度ごとにステップを決め、中身を切り分け、達成目標を定めた方が良いと思います。具体的な数字で目標が立てられるものは厳しく採点するなど、項目ごとに評価方法を変える必要もあると思います。

委 員：数字を見ると、生物多様性の保全だけが点数が低いように感じますが、生物多様性の保全ができていない訳ではないでしょう。基本目標ごとに数値を記すことが良いのかどうか疑問です。

委 員：27年度の目標と比較して評価をしている事業と、単年度での目標と比較して評価している事業とが混在しています。

- 会 長：27年度までの目標に沿ったもの、その中で単年度目標を作った方が良いもの、もっと抽象的に判断せざるを得ないものなどいろいろあると思いますので、町の方でもご検討いただければと思います。
- 事務局：一律に事業を見ていますので、事業の特異性をどう評価するのか難しいところです。毎年ある程度の水準をキープすることが目標になっているもの、100を続けることで、Aという評価を取り続けることができるものもあれば、長期の目標があり、初年度は30できていればAという評価をできるものもあります。事業ごとにいくつか分類し、その中でどのような評価が良いかということ、検討課題にしたいと思います。
- 副会長：ごみ減量化推進協議会で地域での説明会の事業を検討しました。今年度は17回行いましたが、昨年は0回でした。しかし、昨年度は今年度事業を行うために相当な努力をしています。形に見えなくても行っていることがあります。それを一律に評価することは出来ません。一概に数値だけで評価するのは難しいでしょう。
- 委 員：数値については、評価として数字を載せないと分かり辛いということで載せていると思いますし、3が最高評価という中で4年間の初年度に2.28ですから、低い数値だとは全く思いません。施策ごとにBが多いですが、こだわる必要も無いと思います。3が最高点であることは最初を見れば分かりますが、分かり辛いというのであれば、Vで改めて評価の表し方をどこかに記載すれば良いです。
- 委 員：3が満点なのは分かるのです。そこに到達するまでの数字の是非が判断できないと言っています。
- 委 員：前期は4年間で、それぞれ目標を立てていますし、事業によって目標の立て方は違います。その為に1つ1つの事業については、前に記載してありますからそれを確認するしかありません。Vで記載してある数値は、あくまで目安でしょう。
- 委 員：それくらいの気持ちで見ると良いかもしれません。
- 会 長：目標はあっても目標値が無いもの、最終年度の目標はあっても過程での目標が無いもの、いろいろありますし、事業ごとに異なります。それを踏まえて、目標、目標値、評価の視点について再検討をお願いします。
- 委 員：数値は百分率に直し、3点を100として表すのはいかがでしょう。同じ数字でも理解のし易さが変わると思います。
- 委 員：はっきりした数字で表さない方が良いところもあります。数字になるとぎくしゃくしてしまいます。A、B、C、Dだと幅が出てくるので良いのですが。
- 委 員：数字がはっきり分かって指標に出来るものを重点事業とすれば良いでしょう。
- 事務局：来年度以降どのように反映するかを考えます。総合評価もA、B、C、Dで評価したかったのですが、このままでは計算できないので、数字を当てはめて平均を出しました。記号で総合評価を表そうとすると、全ての事業評価がAでなければ平均3点にはならないので、Aという総合評価はなかなかつきません。2点以上なら

B「計画通り実施し、一定の成果が得られた。」と読み替える目安にするために点数化しました。また前回は、Aが多いので概ね良いという評価の仕方をしていました。全て言葉で表現していたのですが、前の報告では分かり辛いという意見がありました。

委員：総合評価は全て言葉で行い、平均を出す必要が無いのではありませんか。

副会長：一つ一つに不確定な部分がありながら、数値化する必要は無いでしょう。

委員：経年変化を見るという意図があり、数値化しているのかと思います。

会長：最終的な取りまとめはおおよその全体の把握ができるようになっていきます。このVで示された数値をどう見るかですが、私としては、前回審議会の分科会で見た部分がベースになっていて、それを寄せ集めるとこのような数字になるということだと理解しています。評価については、1、2年は、大体このような感じで進んで、だんだん精度を上げることを考えていただければ良いと思います。

委員：初年度に70、80%達成できてしまうことが良いことでしょうか。

事務局：27年度目標を基準に評価をしているものもありますが、基本的には24年度単年度の目標に対してAと評価されているので、翌年度、25年度の目標に対してはBになる可能性もあります。例えばごみの量で言うと、毎年下がる目標になっていきますから、現状維持のままでは来年は今年の評価より悪くなります。

会長：検討課題として町はご検討ください。2. 循環型社会の実現についての総合評価について何かご意見はありますか。他の自治体と比較してどうかというところを示しながら評価してあると分かり易いですね。平成25年度環境白書では、全国平均で一人当たり一日のごみの排出量は975g、それに比較して二宮町847.5gというのは、130g程少ないですね。全国、県内ではどうなのか分かれば、目標設定自体がかなり厳しい設定であることも分かり、それに対する評価の見方も変わるでしょう。

副会長：世の流れとしてその方向が合っているのか間違えているのか確認しながら、情報を知らされながら会議をできる資料にさせていただいた方が評価し易いです。

事務局：正直ごみの目標は二宮町は厳しめで設定しています。

副会長：余所の市町村と比べたら相当頑張っています。

事務局：資源化率は相当良い数値です。

会長：良いところは評価してあげたいですね。3. 低炭素社会の形成についていかがでしょうか。

委員：前回、目標の設定そのものがこれで低炭素社会の形成に対して行っていることになるのか、ということをお申し上げました。また、減災視点で評価が無いので、防災、環境、福祉の評価を反映させていただきたいです。

会長：今年度から二宮小学校大規模改修工事が防災視点で行われますが、太陽光関係のものは設置されませんか。

事務局：27年度事業で、国からグリーンニューディール基金を受けて事業を行うことになっていきますから、太陽光関係について考慮して工事を行っています。

会長：ではこの改修工事は良かったですね。総合評価については厳しい意見もございましたが、目標、目標値の設定、評価の視点が妥当なものになるように少しずつ改善してください。

#### (4) VI 二宮町環境審議会の意見の取りまとめについて

＊資料3、資料4について事務局より説明

##### 【質問・意見】

会長：資料3には、全般のこと、分科会で議論していただいたことを、できるだけポイントを外さずまとめていただいています。ご意見があればご発言ください。

委員：2. ③の文末が「必要でしょう」という他と違ったトーンになっているのが気になりました。また、これは誰が読むことを考えて書いているのかを教えてください。5. ①のなかで「低炭素社会の形成実現に向けた視点を明確にし、」とあります。この表現は、分かる人は分かるのですが、難しいと思います。

会長：私の意見としては、二宮町に対して意見を提示したいということで記載しています。環境問題は横断的に取り組まれていますので、環境部局だけに申し上げている訳では無く、前回資料2に関係する部局全体に申し上げます。審議会は業務命令を出せませんので、意見として申し上げ、それは当然尊重していただけると理解しております。行政の長に対し具申するということができますが、そこまで形式張らなくて良いかと思えます。表現については、である調の方が落ち着くのですが、前回資料2全体が丁寧語で書かれていますから、ですます調で意見をまとめて良いかと思えます。しかし、「でしょう」という語尾は他とトーンが違いますから、統一しましょう。視点について申し上げます。前回、低炭素社会の形成部会では、個々の施策ごとに評価の視点を持っていて、そもそも低炭素社会の形成のためのものだということがブレイクダウンした目標設定をしているというご意見が出されておりました。道路の拡幅では、交通の便は良くなりますが自動車利用が増えるのではないかというようなご意見もありました。むしろ、低炭素社会の形成という視点で見ると、モーダルシフトに向けた施策という基本的な評価視点が必要だろうということでした。皆様のご意見からそのような意味合いを感じて記載しています。

委員：曖昧な表現が良くないのでしょうか。特定の課に全ての目標や評価を見直ししていただきたいとは言い辛いので、視点を明確にしてください、という表現で部会で意見を申しました。

副会長：しかしそれは全体の所に記載した方が良くありませんか。

部長：同じことが生物多様性の保全部会でも出ていました。

事務局：3. ①で記載しています。

会 長：では5. ①の「低炭素社会の形成実現に向けた視点を明確にし、」は取りましようか。「公共交通への利用転換が図られるように努めることが求められます。」はこのまま残します。総論的なところに移して、「低炭素社会の形成実現に向けた視点を明確にし、」は読めるようにしましょう。

事務局：取りまとめ方で、生物多様性の保全についてと、低炭素社会の形成についてのところで、先ほど会長に仰っていただいた視点なのですが、「「バリアフリーの推進」(3-1. ⑤) 及び「駅前駐輪場の整備（利用者の利便性向上）」(3-1. ⑦) については、公共交通への利用転換が図られるように努めることが求められます。」にするということですね。

会 長：そうです。

事務局：3. ①は抜いて総論として記載するということですか。

会 長：しかし、これは各論の話でもあるのです。吾妻山の整備をするのは良いのですが、その整備をするときにどのように環境保全型の整備をしたか、という視点が無いという議論を反映しており、ここは重要なポイントと考えています。

事務局：全般の部分に加え、各目標別視点の再認識ということを入れてはいかがでしょうか。

会 長：全体の視点に移してしまうと各論への指摘が弱くなりますね。3、4、5の①の前に、「総論的に～に向けた視点を持ち、下記の点について再検討をお願いしたい」と記載し整理してはいかがでしょうか。

委 員：そういうことではなく、駐輪場に多くの自転車が停められるようになると、CO<sub>2</sub>を出さない人力での交通手段を拡大することに繋がる、自動車で送迎されている人が、自転車で出かけるようになりCO<sub>2</sub>を排出しない、というようなリンクの仕方がここに標記されていなかったの、これを読んだ人が私のように分からないということが無いようにした方が良いと思ってしたのが、先ほどの発言です。

副会長：5. ③で、「小学校の屋根へ率先して設置を進めてはいかがでしょうか。」とソーラーパネル設置を小学校に限定していますが、「小中学校」にしてはいかがでしょうか。

会 長：中学校がありますから、入れましょう。

副会長：4. ①「水分ひとしぼり運動」について、私は、「水分もうひとしぼり運動」にした方が良いと言っています。

会 長：賛成です。では審議会の意見としてそのようにしましょう。

事務局：資料2や、評価シートについても、修正してよろしいでしょうか。

会 長：お願いします。

副会長：川勾神社の駐車場に設置したソーラー発電装置を公共未利用地に置くことも、提案の一つに記載していただければどうかと思います。

会 長：それは是非入れさせていただきたいです。

副会長：結果として、無理かもしれませんが検討していただけると良いと思います。

委員：低炭素社会の形成部会では、もっと詳細に話し合いされていました。

委員：資料4には入っていますね。

事務局：メガソーラーについては資料3に入れます。それを含めて意見を事務局の方でまとめさせていただくということでご理解いただければと思います。

#### (5) その他

会長：何か事務局からありますか。

事務局：3月に次の会議を予定しておりますので、1～2月に日程調整をさせていただきます。先ほどの資料3については案を一度皆様にお送りし、その後、ご意見があれば、また取りまとめて会長と副会長に一任でお送りさせていただくということによろしいでしょうか。

副会長：まとめに不満がある方がいらっしゃいますので、一度全員に確認していただき、納得の上で完成していただいた方が良いでしょう。

会長：事務局の方でまとめ、委員全員に確認し、最終的に会長、副会長で決定をするという流れにします。事務局は大変かもしれませんが、早めに作り直してください。委員の皆様にも余裕の無い回答期限を設けるかもしれませんが、ご理解ください。

事務局：承知しました。

会長：それでは、本日はありがとうございました。